

やまびこ 第24号

発行
公益社団法人和歌山県青少年育成協会
〒640-8319
和歌山県和歌山市手平 2-1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 9 階
TEL:073-435-5236 FAX:073-435-5238
<http://wpyda.org/>



国内研修

日 程：平成 27 年 7 月 26 日 (日) ~ 28 日 (火)

参加人数：17 名

(少年メッセージ 2015 和歌山県大会発表者
奨励賞受賞者)

「少年メッセージ 2015」和歌山県大会における発表者
及び奨励賞受賞者を対象に国内研修を開催。

平成 27 年度は二条城 (京都)、比叡山延暦寺 (滋賀県)
に参拝後、嵐山 (京都) を散策、また、神戸しあわせの
村で野外炊事とレクリエーションをすることにより、交
流をさらに深め、最終日は神戸にある“人と防災未来セ
ンター”で体験学習等を行いました。



「少年メッセージ2015」和歌山県大会

第37回「少年メッセージ2015」 和歌山県大会

開催日：平成27年 7月 25日(土)
場 所：紀美野町文化センター
(発表者数) 18名
(観客数) 約300名



塩崎 優衣



弓庭 かなみ



嶽部 美咲



喜多 風光



山本 盟



「少年メッセージ2015」和歌山県大会
主催 公益社団法人 和歌山県青少年育成協会



開会のあいさつ



大東 奈央



和田 悠希



りら創造芸術高等専修学校 タップダンス



池原 志織



吉川 実菜



森本 倅多



谷口 鈴



松田 美咲



大谷 花



瀬藤 祐紀



高田 空玲亜



宮本 彩理香



廣橋 尚依



伊藤 千歩



県内8地方から12,665点の応募を頂き、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名、特別賞2名、入賞10名、奨励賞24名の作品が表彰されました。

内容は、自分の生き方や将来の夢、地域社会についてなど様々。いずれの発表も堂々とした態度で一生懸命さが伝わってきて、会場にいる誰もが感動したのではないかと思います。

今さらながら、子どもたちのパワーに圧倒されました。

今回、金賞を受賞したのは、和歌山県立桐蔭中学校3年、宮本彩理香さん。

「文化を伝えたい」というタイトルで、国際交流・相互理解を主題とし、世界的視野のスケールの大きな主張でした。

今後も中学生たちの素晴らしいメッセージが届けられるのが楽しみです。

和歌山県大会レポート

次回「少年メッセージ2016」和歌山県大会告知

平成 28 年度は 7 月 23 日 (土) 「上富田文化会館」で開催します。
お問い合わせは、公益社団法人和歌山県青少年育成協会 (☎ 073-435-5236) まで

子ども達が主役となる少年メッセージは、多くの方の協力と支援で成り立っています。

「少年メッセージ2015」和歌山県大会

「日本の文化は本当に素晴らしい」と。例えば、食文化である。和食は、ユネスコ無形文化遺産に登録された。アニメだってそうだ。また、最近ではよく「クールジャパン」という言葉を耳にする。これらは、日本の文化が「世界に認められている」という事を示している。しかし、これらの文化はひとりでに世界に認められるようになったわけではない。「伝えたい」という強い思いがあったからこそ、和食はユネスコに認められた。人に、誰かに何かを「伝える」ためには、「思い」は必要不可欠である。

私の家は、神社だ。そんな家系に生まれた私は、毎年正月になると巫女になり、家の手伝いをする。これも、日本の立派な文化の一つだ。小さい頃から祭りなどの神社の行事に関わっているせいか、私は伝統的な日本の文化が大好きである。

『文化を伝えたい』



和歌山県立
桐蔭中学校3年
宮本 彩理香

宮本 彩理香

私はそのことを学校で、ALTの先生に話してみた。先生も、伝統的な日本の文化が好きらしい。つたない英語だったが、自然と会話が弾んだ。何より、「日本の文化が好き」と言ってくれた事がうれしかった。先生と会話してから数ヶ月が経ち、新年を迎えた。「あれ、見たことがあるなあ。」金髪の頭が見える。「ま、まさか……」

ALTの先生がお参りに来てくださったのである。思ってもいなかったのと、とてもうれしかった。私の父は先生のために英語を交えて御祈祷した。英語を交えて行う事は私にとっても父にとっても初めてだったので、ドキドキした。きっと、先生も同じだっただろう。神秘的な空気とはりつめた緊張感のなか、御祈祷は厳かに行われた。父も私も、「日本の文化を知ってもらいたい」という強い思いを持って臨んだ。伝えたかったから……。神社に英語。そんな取り合わせがとて新鮮に感じられた。御祈祷が終わった後、先生はとても感動していた。そして、身振り手振りで感動を表現してくれた。英語を交えたとはいえ、祝詞は日本語なので、先生はあまり理解できなかったと思う。でも、伝わるものは大いにあったのではないか。

「日本語とか英語とか、例え言語が違ってても心が通っていれば相手に思いは伝わるのだな。」私も感動していた。この貴重な体験は、

私の胸に深くきざみこまれた。実際に、「日本の文化」を伝えてみる側になり気付いた事がある。それは、「文化を超えて、感情は共通している」という事だ。言葉が通じなくても先生と父、私は「感動する」という感情を共有する事ができた。例えば生まれた場所が違ってたって、環境が違ってたって、人は何か楽しい事があると笑顔になるし、反対に悲しい事があると泣く。「人間が理解し合えるのは、同じ感情を持った人間だからなのかな。」

だからこそ、人は自分が生まれた国以外の文化でも好きと思えるのだろうか。この世界には、たくさん文化や考え方が存在する。私と弟が考え方の違いによりけんかするように、国と国が対立することは当たり前前的事なのかも知れない。互いを理解する事は、そう簡単な事ではないからだ。でも、同じ感情を共有する事ができる人間だからこそ、理解しようと努める事ができると思うし、私もそう努めたい。

同じ地球上に住む私達は、これから先より一層協力し、一つになる事が必要になるだろう。そのための第一歩となるのが、「文化を伝える」という事だ。

四季折々の自然。四季折々の行事。どんなに小さな事でも良い。自国の良いところを伝えてみよう。また、自分も他国を理解しよう。このように、互いに理解を深め合っていくことで、いつか世界が一つになると信じて……。

◎入賞者一覧

金賞	文化を伝えたい	和歌山県立桐蔭中学校3年	宮本 彩理香
銀賞	言葉との出会い	和歌山県立日高高等学校附属中学校3年	森本 倅多
銀賞	たくさんの糧をつないで ～1人1人が駅伝ランナー～	紀の川市立粉河中学校2年	廣橋 尚依
銅賞	大切な地域にできること	紀美野町立長谷毛原中学校3年	弓庭 かなみ
銅賞	あなたの分岐点 ～廃物に取りつれないために～	和歌山県立古佐田丘中学校3年	嶽部 美咲
銅賞	一人一人を大切に	かつらぎ町立笠田中学校3年	和田 悠希
特別賞	大切な気持ち	湯浅町立湯浅中学校2年	池原 志織
特別賞	大人になる	上富田町立上富田中学校3年	伊藤 千歩

入賞

私の進む道	日高川町立中津中学校2年	塩崎 優衣
素敵なお母さんになるため	和歌山県立高積中学校2年	喜多 風光
感謝の言葉	有田市立箕島中学校3年	大東 奈央
あいざつとコミュニケーション	岩出市立岩出中学校2年	山本 盟
地球と私達の未来 ～単なるポイ捨てが招く悲劇～	海南市立亀川中学校3年	吉川 実菜
誰かに届く優しさ	串本町立西向中学校2年	谷口 鈴
あきらめない気持ち	田辺市立大塔中学校1年	松田 美咲
その人の歴史	海南市立下津第二中学校2年	大谷 花
自分を変えてみる	海南市立下津第一中学校3年	瀬藤 祐紀
私の反抗期	新宮市立緑丘中学校2年	高田 空玲亜

平成27年度家庭の日啓発促進事業 「家庭の日絵画コンクール」

平成 27 年度「家庭の日」推進事業 絵画 優秀作品

今年も温もりや優しさがいっぱい感じられる作品が勢ぞろい

和歌山県では、「ふれあいとやすらぎのある家庭づくり」を推進することを目的に、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、啓発活動を行っています。



●ふれあい賞
「なかよしかぞく」
上田 桃子 (和歌山市立雑賀小学校 3年)



●ファミリー賞
「ぼくの家族」
尾崎 皓太
(紀の川市立中貴志小学校 5年)



●やすらぎ賞
「家族の花」
嘉成 来知 (有田川町立藤並小学校 1年)



●やすらぎ賞
「たこやきおいしいね！」
阪中 柚妃 (紀の川市立安楽川小学校 3年)

毎月第3日曜日は家庭の日

『家族そろって新入生』

小学校に入学する直前のお子さんのいるご家庭にお配りしているリーフレット。

和歌山大学、米澤好史教授や信愛女子短期大学、室みどり教授、その他経験豊かな編集委員の先生にご協力いただき10回目となりました。「保護者の方も、不安になることなく子どもと一緒に新しい環境へ踏み出せるように」という熱い想いが込められています。



平成27年度リレー式次世代健全育成事業「こどもリーダー養成研修」

地域の大人、青年が一体になって青少年の健全育成に取り組む体制づくりを働きかけるとともに、地域の青少年が青少年を育てていく環境づくりを推進するため「こどもリーダー養成研修」では地域の核となる、こどもリーダーを養成し、地域活動を活性化させるため下記のとおり実施しました。

和歌山県立紀北青少年の家



前期：平成 27 年 8 月 18 日 (火) ～ 20 日 (木)
 (小学生の部：54 名 中学生の部：18 名)
 後期：平成 28 年 3 月 19 日 (土) ～ 21 日 (月)
 (小学生の部：96 名 中学生の部：16 名)

小学生の部では、野外炊事やキャンプファイヤー、グループディスカッションを行い、リーダーのあり方について、研修を行いました。

中学生の部では、キャンプファイヤーの企画・指導方法やコミュニケーション研修などの具体的な研修を行い、リーダーとしての能力を身につけました。

和歌山県立白崎青少年の家



前期：平成 27 年 8 月 12 日 (水) ～ 14 日 (金)
 (小学生の部：66 名 中学生の部：39 名)
 後期：平成 28 年 3 月 25 日 (金) ～ 27 日 (日)
 (小学生の部：88 名 中学生の部：24 名)

小学生・中学生とも野外炊事・キャンプファイヤー・テント泊などの研修を行いました。テントで寝ている時に、大雨が降り、急遽、体育館に移動して宿泊するなどアクシデントはありましたが、臨機応変に行動できる力を身につけました。

和歌山県立潮岬青少年の家



前期：平成 27 年 8 月 22 日 (土) ～ 24 日 (月)
 (小学生の部：11 名 中学生の部：1 名)
 後期：平成 28 年 1 月 9 日 (土) ～ 11 日 (月)
 (小学生の部：11 名 中学生の部：3 名)

小学生・中学生ともキャンプファイヤーのスタンツづくりをグループに分かれて行いました。メンバーからそれぞれ様々なアイデアが出されたのをみんなで相談しながら、1つのスタンツに仕上げること、達成感や調整能力を身につけました。また、野外炊事や自然観察(天体観測など)を行いました。

平成 27 年度 子ども・若者育成支援県民大会

～つなげよう 次世代へ育成の力を～



平成 27 年 11 月 28 日(土)日高川交流センターにおいて、子ども若者・育成支援強調月間の一環として、次代を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、心身共に健やかに成長することを願うと共に、大人たちも社会における役割と責任を認識する機会として開催しました。

アトラクションとして、天音太鼓保存会による太鼓演奏や少年メッセージ 2015 の発表（日高川町立中津中学校 2 年生 塩崎 優衣さん「私の進む道」）の後、「つなげよう、次世代へ育成の力を」と題して「地域の育成力を考えるフォーラム」を開催し、Jr. リーダーOG や市町村の青少年担当者によるパネルディスカッションを行った。

約 600 名の参加があり、和歌山県の将来を担う子ども・若者の育成について、皆さまに考えて頂くきっかけとなりました。



県民大会では各種表彰も行いました



感謝状及び表彰関係（敬称略・順不同）

知事感謝状 青少年健全育成部門【個人】	
ふじた 弘治 (和歌山市)	こうじ
なか井 弘 (紀美野町)	ひろむ
ふじき 智燈 (紀の川市)	ちとう
じょう 城 正巳 (紀の川市)	まさみ
たぶち 田淵 元紹 (紀の川市)	もとあき
くりやま 栗山 博子 (有田市)	ひろこ
こだま 児玉 汎美 (橋本市)	ひろみ
まえだ 前田 厚子 (御浜町)	あつこ

知事感謝状 青少年補導委員会部門【個人】	
こいけ 小池 佐左夫 (御坊市)	ささお
いな 伊奈 隆司 (御坊市)	たかじ
やました 山下 豊蔵 (日高川町)	ほうざん
おか 岡 修平 (田辺市)	しゅうへい
ひろはた 広畠 慶司 (田辺市)	けいじ
くすもと 楠本 仁 (新宮市)	ひとし

公益社団法人 和歌山県青少年 育成協会会長表彰（個人）	
あずま 東 昌代 (和歌山市)	まさよ
ほった 堀田 泰伯 (岩出市)	やすのり
みぎうめ 右梅 八世 (紀の川市)	やよ
いちせ 妹背 佳実 (紀の川市)	よしみ
たなか 田中 圭子 (紀の川市)	けいこ
まえだ 前田 彰一 (橋本市)	しょういち
なか 仲 常武 (田辺市)	つねたけ

知事感謝状 青少年健全育成部門【団体】
特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (和歌山市)

知事感謝状 善行少年部門【団体】
アグリ☆スマイル (有田川町)
和歌山県立日高高等学校・ 日高高等学校附属中学校 地域合同避難訓練実行委員会 (御坊市)

公益社団法人 和歌山県青少年 育成協会会長表彰（団体）
ボーイスカウト那賀第6団 団委員長 高出 泰広 (紀の川市)

平成 27 年度 市町村民会議等支援事業

地域に根付いた団体にしかできない取り組みを



各地域における
元気な活動を
サポートしています。



トルコ125周年 青少年親子体験事業

今回、日本トルコ友好 125 周年ということもあり、
榎野地区においてトルコ記念館で串本の歴史学習を
親子で体験した。エルトゥールル号遭難を語り継ぐ
会の方に来ていただき、語り部として歴史について
学習した。自分の住んでいる町の歴史について興味

を持ってもらうきっかけとなりました。

また、親子で釣りをし、釣った魚で BBQ を行い
ました。親子間の交流はもちろん、他の青少年・大
人との交流を通して社会性や自立性の向上を図りま
した。

主 催 者：串本町青少年育成町民会議
開 催 日：平成27年8月9日（日）
開催場所：串本町榎野地区



平成 28 年度 青少年育成協会 主要事業



※夏の子どもをまもる運動

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	和歌山県青少年育成指導者 関係研修会（白浜町）	通常総会	少年メッセージ2016 和歌山県大会（上富田町）	地域ユース・ジュニア リーダー養成研修（前期）			子ども・若者育成支援県民大会 （和歌山市）			市町村民会議等代表者会議	地域ユース・ジュニアリーダ ー養成研修（後期）
			7・8月 ※								
			6～9月 家庭の日作品募集								
通年 リーダー活動支援事業・「家庭の日」啓発促進事業・リレー式次世代健全育成事業											

青少年に関する 相談窓口一覧

教育相談電話

和歌山県教育センター学びの丘

〈TEL〉 0739-23-1988 (田辺市)

〈TEL〉 073-422-7000 (和歌山市)

(月～金) 9:00～12:00 / 13:00～17:00
祝日、年末年始を除く

ヤングテレホン・いじめ110番 和歌山県警察本部少年課

〈TEL〉 073-425-7867

〈メール〉 e8205001@pref.wakayama.lg.jp

(月～金) 9:00～17:45 夜間及び土・日・祝日は当直で対応

子どもと家庭のテレフォン110番

〈TEL〉 073-447-1152

(24時間体制)

若者サポートステーション With You

・わかやま 〈TEL〉 073-428-0874

・きのかわ 〈TEL〉 0736-32-0874

・南 紀 〈TEL〉 0739-24-0874

(月～金) 10:00～17:00、祝日・年末年始を除く

和歌山いのちの電話

社会福祉法人和歌山いのちの電話協会

〈TEL〉 073-424-5000 (10:00～22:00)

毎月10日はフリーダイヤル：0120-738-556
8:00～翌8:00 (24時間)

会員の募集について

公益社団法人和歌山県青少年育成協会では、当協会の目的に賛同いただける会員の方を募集しております。ご協力いただきました会費は、青少年の健全育成・非行防止を目的とした各種事業に使わせて頂いております。

また、会員の皆様方には「やまびこ」など当協会作成の冊子等をお届けするほか、総会パンフレットなどに会社名やお名前を掲載させていただきます。詳しくは、当協会までお問い合わせ下さい。

会費は	正会員 個人 (年額)	2,000 円
	団体 (年額)	5,000 円
	賛助会員 (年額) 一口	10,000 円

青少年育成協会は、会員の皆様からいただいた会費によって運営されています。よろしくお願いいたします。

新規会員さま (敬称略)

〈正会員 (個人)〉 東 富美子・阿波 宏樹・井谷 国チエ・井上 道子・井辺 和美
右藤 尚子・口井 紀子・久保 光正・小西 政宏・里村 悦司
真田 昭・島川 孝志郎・鈴木 克己・田村 麻希子・土井 裕美子
中埜 礼奈・西 乙・橋本 トシミ・馬場 明子・林 季予子
原 博信・藤井 民子・古田 光名子・堀 陽子・堀内 和久
明治 む津美・吉本 孝久

〈正会員 (団体)〉 和歌山教区少年連盟

〈賛助会員〉 和歌山ローリガンズ 新家 兄壘・野村 富也 **本当にありがとうございます**